

# 一 般 質 問

令和6年6月6日に「第2回奥尻町議会定例会」が開会され、4名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

木村 孝義 議員



## 人口減少への 姿勢の明示を

### 質 問

奥尻町の現在の人口は、令和6年3月末で2207人となっており、昭和35年の7908人のピーク時と比較し、約4分の1まで人口が落ち込んでいます。

国立社会保障・人口問題研究所による奥尻町の将来人口の推移は、令和27年の予測では934人という千人を切る驚くべき数値が出ており、このままいくと将来、町が消滅するという一部報道もあるため、次の点について伺います。

1、奥尻町の将来人口の推移や報道について町としてはどういう認識か、人口減少に対する考え方を伺います。

2、今後、定年退職した世代や働き盛り世代などへの町のアピールとか、移住促進を図るとか、あるいは将来人口の増に向けて何らかの方策を検討していく考えがあるのか伺います。

3、今後、奥尻町の将来に向けて、特にこれから何に力を入れていくのか、どのような町の方向性としていくのか、町の特徴としてどう考えていくのかを伺います。



## 人口構造の改善 の対策が必要

### 町長答弁

1、日本国内全体として人口減少社会を迎えており、将来人口の推移は当町に限らず、道内各自治体にとつては非常に厳しい数値が示されたものと認識しており、人口減少局面というのは避けられないという現実を迎えております。

そういった中で、少子高齢化に歯止めをかけ、将来的な人口構造の改善に向けたあらゆる対策を行っていく必要があると考えています。

2、これまでも、移住定住イベントへの参加等でPR活動を行ってきており、地域おこし協力隊制度を活用した積極的な隊員受入を行い、実際に奥尻町へ移住された方もおります。

しかしながら、当町にお

いては移住者の受入にあたって住環境の整備が急務となっていることから、最優先に取り組んでいきたいと考えています。

3、将来の奥尻町にとって一次産業はもちろんのこと教育、医療、保健福祉、防災強化、公共施設の整備等すべてが必要なことでありますが、その中でも他地域に先駆けて、奥尻高校の全国募集、脱炭素先行地域として公共施設への太陽光発電の設備、観光分野で宿泊施設の確保が喫緊の課題となっていることから、宿泊施設の誘致に取り組んでいきたいと思っております。

財政的にも厳しい時代ではありますが、町民の皆様が暮らしやすく、また、将来にわたって持続可能な街づくりを全力で取り組んでいきたいと考えております。

## 水産と観光 特化して専念を

### 質問

奥尻町は、漁業と観光の

### おくしり議会だより

(7)

二大産業の町といわれていますが、ここ近年は、漁業の主要魚種であるイカ漁やホッケ漁などの極端な不漁に見舞われ、漁業の衰退が懸念されており、また、観光客も震災前までは年間5万人を超えましたが、今は2万人に満たず、観光の島といえるのかと疑問を抱く方もおります。

奥尻町の将来にも関わる重要な産業について次の点について伺います。

1、町ではこれまで「水産」と「観光」の業務は別の部署だったものの、今は役場内で同じ「産業振興課」となっておりますが、この厳しい町の二大産業を立て直すことが急務と考えらるなら、「水産」と「観

光」をそれぞれ独立した課として、それぞれ集中した業務体制として専念するべきと考えますが、その機構改革の考えはないのか伺います。

また、「水産」や「観光」に特化した「プロジェクトチーム」なるものを立ち上げ、調査、分析、研究などに特化する考えはないかも伺います。

2、奥尻島のウニ漁期は、例年7～8月の1か月ほどの短い期間で、それが観光の最盛期となっております。今の時代は技術革新が目覚ましく、生ウニを冷凍し、解凍したら冷凍前と同様の鮮度で食することができる技術が開発されていると聞きますが、町としてそういう情報や調査、冷凍技術を導入する考えがあるかを伺います。

3、奥尻町の将来に向けて、「水産」や「観光」の主要産業を立て直し、進展させ

るためには、もっと多くの予算配分が必要不可欠と考えますが、もっと思い切った予算を検討する考えがないかを伺います。

### 限られた中で 事業を検討

#### 町長答弁

1、「水産」と「観光」が独立した課で業務を行えば、集中して専念できる業務もあり、効果が発揮できることもあると思いますが、デメリットとして現場作業やイベント等が行き届かないことが多いものと考えています。

現在も他係と協力して業務にあたっているため、現状を鑑みても「水産」「観光」の独立した機構改革は、今は考えておりません。

また「プロジェクトチーム」の立ち上げについても、現在進められている「観光

協会」「奥尻町」「観光関係機関」「民間事業者」で組織されている「奥尻島観光戦略実行会議」により対応しています。

2、観光客の目当ての一つが生ウニとなっておりますが、冷凍については多方面から情報入手を心がけています。生ウニの冷凍は難しく、本来の味を出せるものかは今のところ把握していません。

また、そういう技術が確立されれば、観光振興のため導入事業者に対し支援の検討を考えたいと思っております。

3、現在、財政的には非常に厳しい状況にあります。

しかし、産業の中心となっている「漁業」「観光業」の状況は今後更に衰退していく可能性もあり、そのため漁業では新しい魚種としてトラウトサーモン養殖への支援を行い、観光業ではクルーズ船誘致や企画



今年も「につぼん丸」が寄港

乗船券などへの予算を配分しています。

もっと思い切った予算の検討とのことですが、財政的に厳しい状況であることを見、既存事業の見直しや町負担の少ない補助金の活用を検討しながら、限られた予算での事業を進めてまいりたいと考えています。また、宿泊施設の確保が喫緊の課題となっており、ことから、確保に向けての対策も必要と思っております。

# 青坂 賢二議員



## マイナンバー カードの対応は

### 質問

1、マイナ保険証を使って急病人やけが人を救急搬送する実証事業を5月23日から始めると報道があったが、奥尻町では該当しないと思うがどうか。

2、町では、現在カードが町民にどの程度行き渡っているのか。  
3、町では、カードの読み取り機の準備ができているのか。  
4、高齢者が保険証（カード）の使用ができない方が多いと思う。紙の保険証は

受付に出せば良いだけなので、高齢者は大変であると思うがどうか。

## 今後の動向に 注視していく

### 町長答弁

1、実証事業については救急隊がマイナンバーカードを活用して病歴、投薬など傷病者の情報を正確かつ早期に把握することで救急活動を迅速かつ円滑に行うことを目的に、全国で67の消防本部で実施しており、北海道では札幌市消防局が参加しております。

消防庁では来年度中に全国での導入を目指す方向ですので、奥尻町でも今後の動向に注視してまいります。  
2、マイナンバーカードの普及率は、5月末現在で町民の約71%の方がカードを保有しております。  
3、前段の救急隊が使う読

み取り機については、実証事業に参加してないので準備はしておりません。  
4、現行の保険証は今年の12月2日に廃止となりますが、経過措置として発行済みの保険証は1年間利用できます。

また、マイナンバーカードを保険証として使用できない方のために、各保険者より「資格確認書」が発行され、それでの受診も可能です。

高齢者の方の利用は大変とは思いますが、対応していただけるよう周知してまいります。



## 各会館の 公衆電話の廃止を

### 質問

1、各町内会館に設置している公衆電話は、全部で12か所くらいと思うが、使用頻度が低い状況で、基本料金を負担していると思うが、年間の支払金額はいくらか。  
2、皆が携帯電話を持っていくため、用が足りていると思うが、その点はどう思うか。



## 非常時の緊急 連絡用で設置

### 町長答弁

1、公衆電話を設置している会館の数は、12か所のうち11か所となっており、年間約29万円の負担となっております。

2、各会館は、町内各地区の指定避難所となっております。

災害時には、携帯電話が繋がりにくくなることが想定され、非常時の緊急連絡手段の確保としてそのまま設置を続けたいと考えています。



# 制野 征男 議員



## 公園における 遊具の整備を

質問

子どもたちの成長にとって欠かせない公園における遊具は、老朽化によって撤去されましたが、いち早く整備が必要ではないか。整備計画の進捗実態について問います。

- 1、遊具の整備は子どもたちの成長にとって欠かせないものとの認識でいますか。
- 2、遊具整備における補助制度の有無についての説明を求めます。
- 3、ファミリーパークにおける遊具整備の計画はあり

ますか。また、みなと公園での遊具を充足させる計画はありますか。

## 防災広場への 整備を実施

町長答弁

1、遊具の整備と子どもの成長は直接影響があるものとは思いませんが、遊具で遊ぶことで身体強化の補完や子どもたちのコミュニケーション向上への効果はあるものと認識しています。

- 2、採択の可能性のある補助制度は、地域づくり総合交付金や森林環境譲与税の利用が可能ではないかと考えております。
- 3、今年度中に整備される防災広場等整備工事において、総合庁舎周辺に遊具も整備されることから、ファミリーパークやみなと公園における利用者等のニーズを把握しながら検討したい

## フェリー会社の 今後の体制は

質問

フェリーダイヤのあり方は町民の利用、観光客誘致、産業振興と総合的に合理的であるべきものです。現行のフェリーダイヤを点検し、合理性をもったダイヤに変更する必要があるのではないか。

また、フェリー会社の今後の体制に関する奥尻町としての対応について問います。

- 1、江差発12時のダイヤは函館発の函館バス利用の町民には極めて不便なことから13時とすべきとの認識は持ちませんか。
- 2、観光客誘致対策としては2便体制が極めて少ない

実態から、5月から9月までが適正なものと思いませんか。

- 3、細切れなダイヤではなく、1月から4月までは同じダイヤが合理的であり変更すべきことに妥当性があるとの認識を持ちませんか。
- 4、フェリー会社の今後の対応に関しての奥尻町における認識と見解、さらに対応策を述べられたい。

## 地域に根差した 経営に期待

町長答弁

フェリーダイヤについては、観光や漁業、流通関係に配慮し、町民にとっても利便性を考慮する必要があるとの認識のもと、関係機関と協議してきたところで

フェリー1便体制時のダイヤについては、各方面から利便性が良いと言える状

況ではないとの意見が多いことから、今後の協議の場で、ダイヤ改正案を提案していきたいと考えております。

また、フェリー2便体制期間については、期間を延長することは観光客誘致、町民の利便性も含め様々な面で有効であると認識しておりますが、現航路は国の補助航路であることから、2便体制を延長するには、相応の利用者が見込めなければ経営面での負担が発生してまいります。

そのため、島内受入体制も含めて、関係機関と利用促進を図る事業計画を策定し、対応を検討していきたくと考えております。

また、国の補助を活用し、9月に8日間2便運航することとなっております。先日、プレスリリースされ、グループ経営体制へ移行し、奥尻江差航路についても、会社を分社化し、独

立した事業運営される方針が示されました。

新会社の本社は奥尻町に置くとのことで、今まで以上に地域に根差した経営が行われることを期待しています。

今後も情報共有し、より良い経営が行われるよう町として対応していきたいと考えております。

### 神威脇温泉保養所の水道料金問題

#### 質問

神威脇温泉保養所における水道料金の町内会への支払いと町内会住民の入浴料金の負担、貯水タンクの5年以内の建替えについての議会の意向は明確であり、町として町内会との合意に向けての経緯の具体的な説明を求めます。

また、保養所の改修計画を作成し、その提示を求め

ます。

1、町内会への説明の経緯と結果における報告を求めます。

2、保養所への町内会住民の無料入浴の根拠を求めます。

3、保養所への入湯税を町内会住民が直接負担でなく、保養所が代わって町に納入する理由を説明してください。

4、保養所が水道料金を町内会に納入することになった場合、料金の適正と云える根拠を説明してください。  
5、5年以内に建替えが要望されている、貯水タンク設置費における町内会の適正な負担割合を説明できますか。  
6、保養所に対する町民の憩いの場として、いま少し快適な施設に改修する意向を持ちませんか。

### 町内会等と調整を図る

#### 町長答弁

1、水道料金や入浴料金の負担については、町内会へは説明していませんが、指定管理者および町内会長へ総務産業常任委員会での内容を相談しましたが、合意には至っておりません。

2、神威脇温泉保養所設置条例第8条第2号において指定管理者は神威脇地区に住所を有する者について、使用料を割引または減免することができるとなっています。

3、入湯税は特別徴収義務者である指定管理者が入浴客から徴収し、町に納入することとなっています。

従前より保養所の水道料金は神威脇町内会の入湯税分とされており、町内会住民は、直接支払いはされていなく、入湯税を徴収した

形をとり町へ納入されていますが、総務産業常任委員会でも明確化するべきとの意見がございました。

水道料金は水道料金として町内会に支払い、入湯税は入湯者若しくは町内会で保養所に支払うように調整を図って参りたいと思います。

4、町内会の水道料金は町内会独自で料金を定めており、適正と判断できる根拠はないものと考えます。

総務産業常任委員会でも、水道メーターを取り付け、使用数量から積算することが望ましいものと考えていますが、町内会と指定管理者との合意のもと水道料金を設定できればと考えています。

5、地区水道への助成は「奥尻町振興補助金」で住民生活の向上として必要と認められ、基本的に3分の2以内で補助しております。

今回は、貯水タンク修繕の費用が1000万円を超えることが予想されるため、更新の際は神威脇町内会・地区水道組合との協議後、検討が必要と思われます。

6、保養所は町民の憩いの場のほか観光客も利用できる施設となっています。快適な施設への改修となると大規模な改修か建替えが必要と考えており、多額の予算が必要になることから、難しいもの思っており、今後も保養所が運営できるような修繕はしていきたいと考えています。



総務産業常任委員会の視察

## 脱炭素先行地域 事業の進捗は

### 質問

脱炭素先行地域での事業計画の進捗実態について、太陽光発電の事業費は7億円、風力発電の事業費は7億円、風力発電は民間事業で18億2千万円になっている事業ですが、進捗の状態を示すべきで、太陽光発電整備については町の財政上からも再検討すべきではありませんか。

(11)

### おくしり議会だより

1、太陽光発電の整備は計画において来年度となっておりますが、計画を進めなければならぬ環境にあるのですか。  
2、風力発電も来年度からスタートの計画ですが、民間業者において進める方向なのか。また、環境アセス調査の必要のないものなのか。  
3、太陽光発電整備は7億

ですが3分の2の補助で、2億4000万円の町負担が発生しますが、財源措置の目途について聞きます。

町の公共施設において買収する必要のある電力なのか。また、年間における効果はいかほどのものか。  
4、風力発電でも町において買収する必要のある電力なのか。また、年間における効果は試算されているか。

### 需給等シミュレーション中

### 町長答弁

当初再エネ電源の導入として、民生の年間需要として1万3795メガワットのうち1万1725メガワットを再エネ由来の電源化を目指すこととしていました。

しかし、島内の電力需要量が著しく減少し、それに

伴い系統の安定や干渉を確保することが必要となり、需給や系統のシミュレーション作業を現在進めているところでは。

シミュレーションは今年暮れまでの間に解析される予定で、これにより再エネ電源の実質的な導入可能量が決まります。

事業採算性なども評価され、再エネごとの受入れ可能規模によって、採算性にあった規模の内容に変更していくものと考えています。

これを基に、現在、環境省と電源に関わる変更点を協議し、当初の総量とあまり変わりませんが各電源構成を変更し、各シミュレーションが判明した時点で最終的な再エネ電源の分母が決まり、各電源の量が決まります。

1、一般発電用は当初事業主体を奥尻町としておりますが、民間企業が主体となることも検討を進めており

ます。

また、公共施設の電源用としては、各公共施設の電力料金支払いの削減を見込んでおります。

2、民間事業者は北海道電力に検討していただいております。また、環境アセスについては、自主アセスとして実施の見込みであります。

3、発電事業用は、民間事業者に検討していただいております。

また、公共施設の電源用は概算で、1億8000万円の事業費に対し交付金を1億3000万円見込み、約5000万円の負担が必要となりますが、年間の電気料金を賄うことができる相当額は約800万円を見込んでおります。  
4、発電事業が実施された場合、北海道電力が北海道電力ネットワークに売電することになります。

## お願い

議長宛の文書や案内状などは、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議長の私宅に送付しないで、直接、議会事務局に差出人等を明記のうえ、送付してください。

なお、期日、期限等があるものについては、早めにお願います。

◇送付先 奥尻町字奥尻 806 番地 奥尻町議会議長 宛

議会は町政と皆さんの茶の間をつなぐパイプです。

議会を傍聴しませんか

☆次回定例会は9月上旬の予定です☆



ウニの管理漁場  
拡大と支援を

質問

ウニは観光客の誘致対策のほか、加工品や無菌水パックはふるさと納税の返礼品になるなど、なくてはならない魚種です。漁業者が減少しても漁獲の取り扱いを維持し資源を守ることが重要で、ふるさと納税の返礼品の割合、高齢化と新規参入者への対策、藻場施設、加工施設の老朽化に対する国、道の補助制度を活用した例、販路拡大に向けた町の独自政策を問います。

優先順位と予算  
検討し整備

町長答弁

令和5年度のふるさと納税は5800万円で、ウニ関係は3000万円となっております。ウニ従事者の高齢化対策として餌となる海藻の確保の調整と新規参入者には書類作成の支援等を行っています。

藻場施設や老朽化した加工施設に対する国、道の補助制度はないことから活用した事例はありません。販路拡大の取り組みとして物産展などで、奥尻島といえはウニと言われるようなブランド化を目指し、遠い地区への販路拡大や消費者が買い求めやすいように、無菌水パックの消費期の延長など検討しています。

奥尻町議会のうごき

4 月

- 18日 総務産業常任委員会
- 22日 檜山町村等議長会定例会（江差町）…議長出席
- 24日 令和6年度道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会総会及び研修会（木古内町）…総務産業常任委員長出席

5 月

- 31日 議会運営委員会

6 月

- 3日 檜山地域振興協議会総会・国道277号早期完成促進期成会総会・高規格幹線道路「木古内・江差間」整備促進協議会総会（江差町）…議長出席
- 6日 第2回奥尻町議会定例会  
決算審査特別委員会  
広報編集特別委員会
- 10日 北海道離島振興町村議会議長会決算監査（札幌市）…議長出席
- 11日 北海道離島振興町村議会議長会総会・北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）…議長出席
- 18日 防衛省等要望活動（東京都）…議長・副議長出席
- 26日 檜山地域振興協議会要望活動（函館市・札幌市）…議長出席